

手足症候群出現後，多形紅斑型薬疹

ソラフェニブトシル酸塩



49歳，女．B型肝炎キャリアで2年前に肝癌を指摘され，IFN併用5-FU動注療法を施行していたが，効果判定はprogressive diseaseで，ソラフェニブトシル酸塩導入．第Ⅰ指間および拇指の掌側に左

右対称に強い発赤を認め，他の指掌先端や手掌の一部にも淡い紅斑がみられた(上)．全身に融合傾向の強い紅斑が多発し(下)，舌には有痛性のびらんを認めた．

(藤井弓子ほか：皮膚病診療 35：1125, 2013)